



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日 東

上場会社名 株式会社東陽テクニカ 上場取引所
 コード番号 8151 URL <http://www.toyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五味 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 十時 崇蔵 (TEL) 03-3279-0771
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年9月期第3四半期 | 16,874 | 7.4 | 1,230 | 8.1 | 1,297 | △15.2 | 819 | △18.9 |
| 27年9月期第3四半期 | 15,713 | △12.4 | 1,138 | △48.3 | 1,529 | △35.1 | 1,011 | △30.7 |

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 540百万円(△60.7%) 27年9月期第3四半期 1,375百万円(△8.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年9月期第3四半期 | 32.40 | 32.23 |
| 27年9月期第3四半期 | 37.15 | 36.99 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年9月期第3四半期 | 33,100 | 28,846 | 86.9 |
| 27年9月期 | 34,769 | 30,227 | 86.7 |

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 28,758百万円 27年9月期 30,154百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年9月期 | — | 16.00 | — | 14.00 | 30.00 |
| 28年9月期 | — | 16.00 | — | — | — |
| 28年9月期(予想) | — | — | — | 20.00 | 36.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 22,500 | 7.2 | 1,750 | 38.9 | 1,900 | 13.3 | 1,200 | 19.0 | 46.49 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 28年9月期3Q | 28,085,000株 | 27年9月期 | 29,085,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年9月期3Q | 3,375,428株 | 27年9月期 | 3,274,918株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 28年9月期3Q | 25,307,813株 | 27年9月期3Q | 27,211,289株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは“はかる”技術を基本としたビジネスコンセプトを継続しながら、研究開発市場に傾注してまいりました。そして国内産業の次なる成長の糧となる“新しい技術・製品の開発”の一翼を担うべく、欧米を中心にした先端計測技術・機器の導入と、ソフトウェアを中心にした自社システム製品の増強に力を入れてきました。また、中国を中心にアジア市場にも目を向け、当社製品のユーザー開拓にも注力してまいりました。

連結売上高は168億7千4百万円（前年同四半期比7.4%増）となり、この内、国内取引高は159億3千4百万円、中国や韓国を中心とした海外取引高は9億3千9百万円となりました。

利益面では、営業利益12億3千万円（前年同四半期比8.1%増）、経常利益12億9千7百万円（前年同四半期比15.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億1千9百万円（前年同四半期比18.9%減）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループは「ナノイメージング」、「ソフトウェア開発支援」及び「メディカルシステム」の重要性が増したため、当社グループ内での経営管理区分の見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より、「物性測定機器事業」を「物性／エネルギー」と「ナノイメージング」と「メディカルシステム」に、「その他の測定機器事業」を「ソフトウェア開発支援」と「メディカルシステム」に、報告セグメントの区分を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分の方法により作成しており、以下の前年同四半期比については、変更後のセグメント区分方法に組み替えた数値で比較しております。

また、経営管理区分の見直しに伴い、より事業内容を適切に表示するために、「情報通信測定機器事業」を「情報通信」に、「EMC測定機器事業」を「EMC／大型アンテナ」に、「振動解析測定機器事業」を「機械制御／振動騒音」に、「海洋測定機器事業」を「海洋／特機」に、名称を変更しております。

(情報通信)

情報通信におきましては、国内キャリアの仮想化への取り組みなどで投資が増加したことに加え、携帯端末向け試験サービス需要が堅調に伸びています。平成28年1月からスタートした、自社製品のSynesisパケットキャプチャ製品のビジネスも金融業及びエンタープライズ企業、キャリアをはじめ順調に受注があり営業利益の増加に貢献しています。この結果、売上高は46億4千9百万円（前年同四半期比9.3%増）、営業利益は4億6千9百万円（前年同四半期比210.3%増）となりました。

(物性／エネルギー)

物性／エネルギーにおきましては、次世代電池や高効率エネルギー変換機器などの民間向け測定評価システムの販売は前年並みでしたが、公的機関や国家プロジェクトは低調でした。この結果、売上高は20億5千1百万円（前年同四半期比9.1%減）、営業利益は2千8百万円（前年同四半期比82.7%減）となりました。

(ナノイメージング)

ナノイメージングにおきましては、引き続き国内メーカーとの価格競争は厳しく、さらに公的機関や国家プロジェクトも低調でした。この結果、売上高は8億6千4百万円（前年同四半期比14.1%減）、営業損失は9千1百万円（前年同四半期は6千4百万円の営業損失）となりました。

(EMC／大型アンテナ)

EMC／大型アンテナにおきましては、自動車関連の国内EMC大型案件が順調に売上を伸ばしました。この結果、売上高は25億8千9百万円（前年同四半期比36.3%増）、営業利益は2億1千8百万円（前年同四半期比221.7%増）となりました。

(機械制御／振動騒音)

機械制御／振動騒音におきましては、中心となる自動車関連業界の研究開発投資が好調を継続しました。この結果、売上高は36億4千5百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益は10億2千6百万円（前年同四半期比12.2%増）となりました。

(海洋／特機)

海洋／特機におきましては、主力の海洋測量機器の販売の増加により売上が増加しました。この結果、売上高は10億4千7百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益は1億5千5百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。

(ソフトウェア開発支援)

ソフトウェア開発支援におきましては、既存の製品の売上と、平成27年10月にスタートしたソフトウェアコンサルティングビジネスが堅調に推移しました。一方で、新規メーカーのアプリケーション・セキュリティ製品によるエンタープライズ市場への参入のため経費が増加しました。この結果、売上高は6億9千6百万円（前年同四半期比2.4%減）、営業利益は1億4千1百万円（前年同四半期比21.2%減）となりました。

(メディカルシステム)

メディカルシステムにおきましては、液晶評価システムが中国市場で順調に推移し、医療機器メーカー向けラインの製品も大幅に増加しました。この結果、売上高は13億3千万円（前年同四半期比19.8%増）、営業利益は1億7千7百万円（前年同四半期比236.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ16億6千9百万円減少し、331億円となりました。主な増加要因は、有価証券の増加6億7千1百万円、ソフトウェア仮勘定の増加2億5千3百万円等によるものであります。一方、主な減少要因は、受取手形及び売掛金の減少7億9千8百万円、長期預金の減少12億円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億8千8百万円減少し、42億5千3百万円となりました。主な増加要因は、未払法人税等の増加2億2千1百万円等によるものであります。一方、主な減少要因は、支払手形及び買掛金の減少5億9千9百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ13億8千万円減少し、288億4千6百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により8億1千9百万円増加したものの、自己株式の消却により11億4千万円、配当金の支払いにより7億6千2百万円それぞれ減少した結果、10億8千7百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の連結業績予想につきましては、平成27年10月26日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,657,694 | 1,966,798 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,938,446 | 3,140,380 |
| 有価証券 | 6,714,522 | 7,385,676 |
| 商品及び製品 | 1,178,842 | 981,529 |
| 繰延税金資産 | 270,331 | 230,190 |
| その他 | 447,429 | 422,631 |
| 貸倒引当金 | △400 | △300 |
| 流動資産合計 | 15,206,866 | 14,126,907 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,267,885 | 2,221,780 |
| 車両運搬具(純額) | 3,287 | 4,992 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 606,919 | 598,441 |
| 土地 | 5,596,785 | 5,596,785 |
| 有形固定資産合計 | 8,474,876 | 8,421,999 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | — | 182,666 |
| ソフトウェア | 128,836 | 317,673 |
| ソフトウェア仮勘定 | 267,708 | 520,832 |
| その他 | 13,544 | 16,157 |
| 無形固定資産合計 | 410,089 | 1,037,330 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,422,757 | 5,408,138 |
| 退職給付に係る資産 | 397,651 | 419,642 |
| 長期預金 | 4,100,000 | 2,900,000 |
| その他 | 783,155 | 811,953 |
| 貸倒引当金 | △25,800 | △25,800 |
| 投資その他の資産合計 | 10,677,764 | 9,513,933 |
| 固定資産合計 | 19,562,731 | 18,973,263 |
| 資産合計 | 34,769,597 | 33,100,170 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,048,733 | 1,449,599 |
| 未払法人税等 | 75,304 | 296,436 |
| 賞与引当金 | 480,000 | 285,765 |
| 役員賞与引当金 | 49,000 | — |
| その他 | 1,168,837 | 1,490,932 |
| 流動負債合計 | 3,821,874 | 3,522,734 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 555,425 | 574,406 |
| 繰延税金負債 | 124,047 | 110,746 |
| その他 | 40,910 | 45,382 |
| 固定負債合計 | 720,382 | 730,534 |
| 負債合計 | 4,542,257 | 4,253,268 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,158,000 | 4,158,000 |
| 資本剰余金 | 4,603,500 | 4,603,500 |
| 利益剰余金 | 24,628,519 | 23,540,900 |
| 自己株式 | △3,770,046 | △3,799,395 |
| 株主資本合計 | 29,619,973 | 28,503,004 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 516,244 | 401,127 |
| 繰延ヘッジ損益 | △13,356 | △44,802 |
| 為替換算調整勘定 | 30,201 | △101,513 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 1,836 | 470 |
| その他の包括利益累計額合計 | 534,926 | 255,281 |
| 新株予約権 | 72,439 | 88,616 |
| 純資産合計 | 30,227,339 | 28,846,902 |
| 負債純資産合計 | 34,769,597 | 33,100,170 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 15,713,534 | 16,874,181 |
| 売上原価 | 9,154,124 | 9,853,299 |
| 売上総利益 | 6,559,409 | 7,020,882 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,420,696 | 5,790,370 |
| 営業利益 | 1,138,713 | 1,230,511 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 65,478 | 28,638 |
| 受取配当金 | 44,441 | 48,231 |
| 為替差益 | 230,829 | 76,032 |
| 持分法による投資利益 | 40,711 | — |
| その他 | 19,723 | 16,641 |
| 営業外収益合計 | 401,183 | 169,543 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,142 | 4,683 |
| 有価証券売却損 | 2,350 | 6,000 |
| 持分法による投資損失 | — | 83,537 |
| 自己株式取得費用 | 3,432 | 4,508 |
| その他 | 29 | 3,591 |
| 営業外費用合計 | 9,954 | 102,320 |
| 経常利益 | 1,529,942 | 1,297,734 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 69,478 | 79,847 |
| 特別利益合計 | 69,478 | 79,847 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 801 | 1,037 |
| 特別損失合計 | 801 | 1,037 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,598,620 | 1,376,544 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 374,000 | 532,000 |
| 法人税等調整額 | 213,590 | 24,569 |
| 法人税等合計 | 587,590 | 556,569 |
| 四半期純利益 | 1,011,029 | 819,975 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,011,029 | 819,975 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,011,029 | 819,975 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 357,758 | △115,117 |
| 繰延ヘッジ損益 | △7,760 | △31,446 |
| 為替換算調整勘定 | △44,705 | △102,481 |
| 退職給付に係る調整額 | 32,579 | △1,366 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 26,946 | △29,234 |
| その他の包括利益合計 | 364,818 | △279,645 |
| 四半期包括利益 | 1,375,848 | 540,329 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,375,848 | 540,329 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 自己株式の取得

当社は、平成26年12月1日開催の取締役会の決議及び平成27年12月7日開催の取締役会の決議に基づき、平成27年10月1日から平成27年10月15日及び平成27年12月8日から平成28年6月21日にかけて、市場買付により当社普通株式1,104,500株を総額1,173,945千円にて取得しております。

(2) 自己株式の消却

当社は、平成27年12月7日開催の取締役会の決議に基づき、平成28年1月15日付で自己株式1,000,000株の消却を実施しております。この結果、自己株式が1,140,064千円減少し、利益剰余金も同額減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|----------------|---------------|
| | 情報通信 | 物性／エネルギー | ナノイメージング | EMC／ 大型アンテナ | 機械制御／ 振動騒音 |
| 売上高 | 4,254,888 | 2,257,608 | 1,005,816 | 1,899,546 | 3,477,269 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 151,278 | 161,971 | △64,435 | 67,963 | 914,989 |

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|--------------------|---------|----------------|---------------|------------|
| | 海洋／特機 | ソフトウェア 開発支援 | メディカル システム | |
| 売上高 | 994,505 | 713,453 | 1,110,445 | 15,713,534 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 146,605 | 179,294 | 52,648 | 1,610,316 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,610,316 |
| 全社費用(注) | △471,603 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,138,713 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | |
|--------------------|-----------|-----------|----------|----------------|---------------|
| | 情報通信 | 物性／エネルギー | ナノイメージング | EMC／ 大型アンテナ | 機械制御／ 振動騒音 |
| 売上高 | 4,649,450 | 2,051,437 | 864,122 | 2,589,126 | 3,645,869 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 469,393 | 28,063 | △91,126 | 218,642 | 1,026,246 |

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|--------------------|-----------|----------------|---------------|------------|
| | 海洋／特機 | ソフトウェア 開発支援 | メディカル システム | |
| 売上高 | 1,047,010 | 696,311 | 1,330,852 | 16,874,181 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 155,877 | 141,320 | 177,057 | 2,125,474 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 2,125,474 |
| 全社費用(注) | △894,963 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,230,511 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用であります。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

当社グループは「ナノイメージング」、「ソフトウェア開発支援」及び「メディカルシステム」の重要性が増したため、当社グループ内での経営管理区分の見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より、「物性測定機器事業」を「物性／エネルギー」と「ナノイメージング」と「メディカルシステム」に、「その他の測定機器事業」を「ソフトウェア開発支援」と「メディカルシステム」に、報告セグメントの区分を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分の方法により作成しております。

また、経営管理区分の見直しに伴い、より事業内容を適切に表示するために、「情報通信測定機器事業」を「情報通信」に、「EMC測定機器事業」を「EMC／大型アンテナ」に、「振動解析測定機器事業」を「機械制御／振動騒音」に、「海洋測定機器事業」を「海洋／特機」に、名称を変更しております。